

クオリティインディケーター（QI）成果報告

【看護部】

指標名

身体拘束率

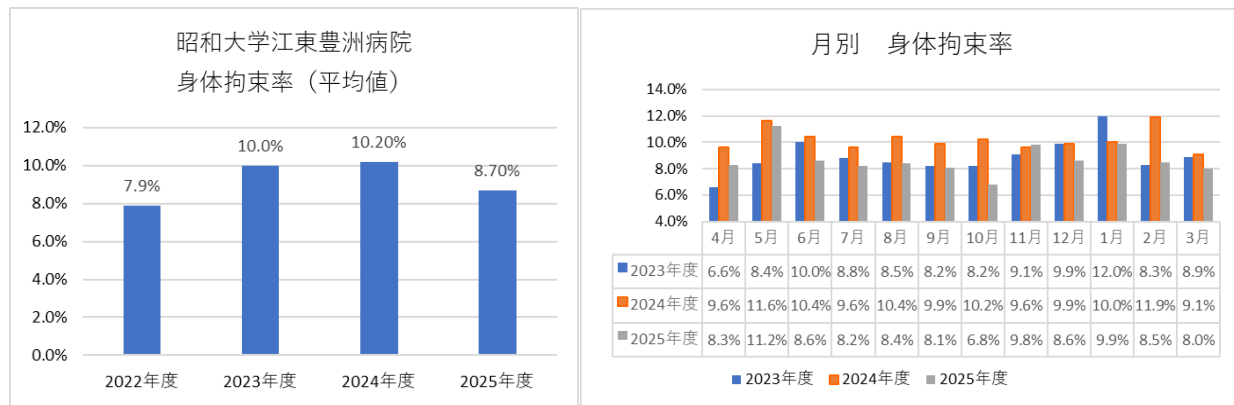
目標：ゴール

身体拘束率 10%以下

目標：ゴール達成による効果

当院における身体拘束に関する基本的な考え方は「患者の人権や尊厳を尊重し、基本的に身体拘束は行わない」と指針を定めている。身体拘束は患者にとって身体的機能低下や精神的な弊害をもたらすことがある。緊急やむを得ない場合には、多職種で三つの要件（切迫性・非代替性、一時性）について話し合い、身体拘束が最小限となり、患者の尊厳が守られることを目指す。

目標：ゴールに対する成果の状況



目標：ゴール達成度

- ☐ S : 大幅な目標を上回った
- ☒ A⁺ : 目標を多少上回って達成
- ☐ A : 目標を達成
- ☐ B⁺ : 目標を少し下回った
- ☐ B : 目標を下回った
- ☐ C : 目標を大幅に下回った
- ☐ - : 外的要因より継続困難となった

目標：ゴールの課題・改善策

身体拘束に関するカンファレンスで、身体拘束の代替案がそれぞれの職種から提案され、早期解除に向けた取り組みが出来るように、身体拘束最小化プロジェクトチームがリーダーシップを発揮し、職員一人一人が解除に向けた行動が取れるように研修を行う。

* 身体拘束率の定義・計算式（公益財団法人日本医療機能評価機構）

$$\text{計測値（\%）} = \frac{\text{分母のうち、物理的身体拘束を実施した患者延べ数}}{\text{入院患者延べ数}} \times 100$$

その他

看護部 資格取得者(2026年4月1日現在)

【認定看護管理者:3名】

【アドバンス助産師:7名】

【専門看護師】

分野	人数
放射線看護	1名
老人看護	1名

【認定看護師:18名】

分野	人数	分野	人数	分野	人数
救急看護	1名	新生児集中ケア	1名	認知症看護	1名
皮膚・排泄ケア	3名	小児救急看護	1名	がん化学療法看護	1名
感染管理	2名	小児プライマリケア	1名	手術看護	1名
緩和ケア	2名	クリティカルケア	2名	糖尿病看護	1名
がん性疼痛看護	1名				

【特定行為研修修了者:5名】

特定行為区分	人数	特定行為区分	人数
栄養及び水分管理(薬剤投与)	5名	呼吸器(人工呼吸器療法)	3名
循環動態(薬剤管理)	3名	呼吸器(気道確保)	1名
栄養管理(中心静脈カテーテル)	1名	呼吸器(長期呼吸療法)	1名
動脈血液ガス分析	1名	術後疼痛管理	1名
感染に係る薬剤投与関連	1名		